

市場規模1000億円間近

## 海外投資家も熱い視線

レンタル収納スペースの市況が旺盛だ。この10年間で施設数は2倍近くになり、市場規模は2007年度に1000億円に到達する見込みだ。海外の投資家の注目が集まっている。今後、大規模施設の開発が多くなると分析されている。レンタル収納スペース推進協議会(RSA)の調査によると、2024年度の国内レンタル収納施設数は、屋内外合わせ、15年度比で1.8倍の1万5923店舗、部屋数は同1.6倍の66万9752室だった。開

## レンタル収納市場



RSAとアジアセルフストレージ協会が5月に共催した「セルフストレージ・エキスポ・アジア2025」には、多くの投資家も関心を寄せた

受け、RDAにっこり、米や欧州、東南アジアの投資家の問い合わせが多いなっている。特に需要の多い都心で、ビル1棟をレタル収納スペースにする。

ビルしゅん工  
来年春200室の

近年、安定した投資先として物流施設が注目され、国内の大手不動産会社をはじめ、

また、国内市場の成長を受け、RSAに対し、米国や欧州、東南アジアの投資家からの問い合わせが多くなっている。特に需要の高い都心で、ビル1棟をレンタル収納スペースにすることによって、ビル1棟をレンタル収納スペースにするよりも、国内外のさまざまな業種の企業が建設を進めている。一方、これまでレンタル収納スペースは大規模な動きがなく、新たなトレンドの一つとなりそうだ。

成長が見込まれる。  
従来、海外転勤時の家財  
保管や、趣味物品の保管な  
うな大規模施設の建設に開  
心を持つ投資家も出てき  
た」(吉田代表理事)。